

使用に際して、この添付文書をよく読んでください。
必要な時に読めるよう大切に保管してください。

感冒薬

ヒームスゴールド

平成18年12月改訂 SG
販売名：ヒームスゴールド



使用上の注意

してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる)

1. 次の人は服用しないこと

- (1)本剤によるアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (2)本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。

2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないこと

他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬（鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬）

3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないこと

(眠気があらわれることがある。)

4. 服用時は飲酒しないこと

5. 長期連用しないこと

相談すること



1. 次の人は服用前に医師又は薬剤師に相談すること

- (1)医師又は歯科医師の治療を受けている人。
- (2)妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3)授乳中の人。
- (4)水痘（水ぼうそう）若しくはインフルエンザにかかっている又はその疑いのある乳・幼・小児（15歳未満）。
- (5)高齢者。
- (6)本人又は家族がアレルギー体質の人。
- (7)薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (8)次の症状のある人。

高熱、排尿困難

(9)次の診断を受けた人。

甲状腺機能障害、糖尿病、心臓病、高血圧、肝臓病、腎臓病、胃・十二指腸潰瘍、緑内障

裏面もよくお読みください。

2. 次の場合は、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師又は薬剤師に相談すること

(1)服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	悪心・嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい
その他	排尿困難

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐにじんましん、浮腫、胸苦しさ等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、息苦しさ等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死症 (ライエル症候群)	高熱を伴って、発疹・発赤、火傷様の水ぶくれ等の激しい症状が、全身の皮ふ、口や目の粘膜にあらわれる。
肝機能障害	全身のだるさ、黄疸（皮ふや白目が黄色くなる）等があらわれる。
ぜんそく	

(2)5～6回服用しても症状がよくなる場合

3. 次の症状があらわれることがあるので、このような症状の継続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師又は薬剤師に相談すること
便秘、口のかわき

【用法及び用量に関連する注意】

(1)小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。

【保管及び取扱い上の注意】

(1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。

(2)小児の手の届かない所に保管すること。

(3)他の容器に入れ替えないこと。（誤用の原因になったり品質が変わる。）

(4)期限を過ぎたものは、服用しないこと。

製造販売元 **国民製薬株式会社** 富山県富山市緑町2-4-4
(消費者相談窓口) 電話番号076-421-4032

平日のみ午前9時より午後5時迄